

# 宿泊約款



## PROVISIONS GOVERNING ACCOMMODATION AGREEMENT

### (適用範囲)

第1条 当ホテルがお客様との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については法令又は一般に確立された慣習によるものとします。

2 当ホテルが、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

### (宿泊契約の申込み)

第2条 当ホテルに宿泊契約の申込みをなさろうとするお客様は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。

- (1) 宿泊者名
- (2) 宿泊日及び到着予定時刻
- (3) 宿泊料金（原則として別表第1の基本宿泊料による。）
- (4) その他当ホテルが必要と認める事情

2 お客様が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

### (宿泊契約の成立等)

第3条 宿泊契約は、当ホテルが前条の申込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。

2 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間（3日をこえるときは3日間）の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。

3 申込金は、まず、お客様が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定により料金の支払いの際に返還します。

4 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までに支払いただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨をお客様に告知した場合に限ります。

### (申込金の支払いを要しないこととする特約)

第4条 前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。

2 宿泊契約の申込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

### (宿泊契約締結の拒否)

第5条 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。

- (1) 宿泊の申込みが、この約款によらないとき。
- (2) 満室により客室の余裕がないとき。
- (3) 宿泊しようとする方が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
- (4) 宿泊しようとする方が、伝染病者であると明らかに認められるとき。
- (5) 宿泊に関し合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
- (6) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
- (7) 宿泊しようとする者がでい酔者等で、他の宿泊者に著しく迷惑を及ぼすおそれがあると認められるとき、及び、宿泊者が他の宿泊者に著しく迷惑を及ぼす言動をしたとき。（都道府県条例による）

### (宿泊客の契約解除権)

2 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないものとします。

- (1) 宿泊しようとする者が暴力団、暴力団員、暴力団関係企業・団体またはその関係者その他反社会的勢力（以下「暴力団等反社会的勢力」という）である場合
- (2) 宿泊しようとする者が暴力団または暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体である場合
- (3) 宿泊しようとする者が法人でその役員の中に暴力団員に該当する者のあるもの
- (4) 宿泊しようとする者が当ホテルもしくはその従業員に対し、暴力的要求行為を行い、または合理的範囲を超える負担を要求した場合
- (5) 宿泊しようとする者が他の宿泊者に著しい迷惑を及ぼす言動をした場合（宿泊客の契約解除権）

第6条 お客様は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解約することができます。

2 当ホテルは、お客様がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合（第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前にお客様が宿泊契約を解除したときを除きます。）は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるに当たって、お客様が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルがお客様に告知したときに限ります。

3 当ホテルは、お客様が連絡をしないで宿泊日当日の午後10時（あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻）になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊されるお客さまにより解除されたものとみなし処理することがあります。

### SCOPE OF APPLICATION

Article. 1. Contract for Accommodation and related agreements to be entered into between this Hotel and the Guest to be accommodated shall be subject to these Terms and Conditions. And any particulars not provided for here in shall be governed by laws and regulations and/or generally accepted practices.

2. In the case when the Hotel has entered into a special contract with the Guest insofar as such special contract does not violate laws and regulations and generally accepted practices, notwithstanding the preceding Paragraph, the special contract shall take precedence over the provisions of these Terms and Conditions.

### APPLICATION FOR ACCOMMODATION CONTRACTS

Article2. 1. A Guest who intends to make an application for Accommodation Contract with the Hotel shall notify the Hotel of the following particulars:

- (1) Name of the Guest(s);
- (2) Date of accommodation and estimated time of arrival;
- (3) Accommodation Charges (based, in principle, on the Basic Accommodation Charges listed in the Attached Table No.1);and
- (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.

2. In the case when the Guest requests, during his stay, extension of the accommodation beyond the date in Subparagraph(2) of the preceding Paragraph, it shall be regarded as an application for new Accommodation Contract at the time such request is made.

### CONCLUSION OF ACCOMMODATION CONTRACTS, ETC.

Article3. 1. Accommodation Contract shall be deemed to have been concluded when the Hotel has duly accepted the application as stipulated the preceding article. However, the same shall not apply when it has been proved that the Hotel has not accepted the application.

2. When Accommodation Contract has been concluded in accordance with the provisions of the preceding paragraph, the Guest is requested to pay an accommodation deposit fixed by the Hotel within the limits of Basic Accommodation Charges covering the Guest's entire period of stay(3 days when the period of stay exceeds 3 days)by the date specified by the Hotel.

3. The deposit shall be first used for the Total Accommodation Charges to be paid by the Guest then secondly for the cancellation charges under Article 6 and thirdly for the reparations under Article 18 as applicable, and the remainder, if any, shall be refunded at the time of the payment of the Accommodation Charges as stated in Article 12.

4. When the Guest has failed to pay the deposit by the date as stipulated in Paragraph 2, the Hotel shall treat Accommodation Contract as invalid. However, the same shall apply only in the case where the Guest is thus informed by the Hotel when the period of payment of the deposit is specified

### SPECIAL CONTRACT'S REQUIRING NO ACCOMMODATION DEPOSIT

Article4. 1. Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the Hotel may enter into a special contract requiring no accommodation deposit after Accommodation Contract has been included as stipulated in the same Paragraph.

2. In the case when the Hotel has not requested the payment of the deposit as stipulated in Paragraph 2 of the preceding Article and/or has not specified the date of the payment of the deposit at the time the application for Accommodation Contract has been accepted, it shall be treated as that the Hotel has accepted a special contract prescribed in the preceding paragraph.

### REFUSAL OF ACCOMMODATION CONTRACTS

Article5. 1. The Hotel may not accept the conclusion of Accommodation Contract under any of the following cases:

- (1) When the application for accommodation does not conform with the provisions of these Terms and Conditions;
- (2) When the Hotel is fully booked and no room is available,
- (3) When the Guest seeking accommodation is deemed liable to conduct himself in a manner that will contravene the laws or act against the public order or good morals in regard to his accommodation;
- (4) When the Guest seeking accommodation can be clearly detected as carrying an infectious disease;
- (5) When the Hotel is requested to assume an unreasonable burden in regard to his accommodation;
- (6) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities, disfunction of the facilities and/or other unavoidable causes; or
- (7) When the guest appears liable to, or in fact conducts himself in a disorderly manner, or when the guest disturbs or annoys other guests, especially when the guest is heavily intoxicated. (Prefectural Ordinance are applicable)

### RIGHT TO CANCEL ACCOMMODATION CONTRACTS BY

Article6. 1. The Guest is entitled to cancel Accommodation Contract by so notifying the Hotel.

2. In the case when the Guest has cancelled Accommodation Contract in Whole or in part due to causes for which the Guest is liable(except in the case when the Hotel has requested the payment of the deposit during the specified as prescribed in paragraph 2 of Article 3 and the Guest has cancelled before the payment), the Guest shall pay cancellation charges listed Table No.2. However, in the case when a special contract as prescribed in Paragraph 1 of Article 4 has been concluded, the same shall apply only when the Guest is informed of the obligation of the payment of the cancellation charge in case of cancellation by the Guest.

3. In the case when the Guest does not appear by 10:00p.m. of the accommodation date(two hours after the expected time of arrival if the Hotel is notified of it)without an advance notice, the Hotel may regard Accommodation Contracts as being cancelled by the Guest.



# 宿泊約款



## PROVISIONS GOVERNING ACCOMMODATION AGREEMENT

(当ホテルの契約解除権)

第7条 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約を解除することがあります。

- (1) お客様が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行をしたと認められるとき。
- (2) 宿泊されるお客様が伝染病者であるとあきらかに認められたとき。
- (3) 宿泊に関し合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
- (4) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
- (5) 宿泊しようとする者が酔っ払い等、他の宿泊者に著しく迷惑を及ぼすおそれがあると認められるとき、及び、宿泊者が他の宿泊者に著しく迷惑を及ぼす言動をしたとき。(都道府県条例による)
- (6) 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項(火災予防上必要なものに限る)に従わないとき。

2 当ホテルは宿泊者が次の事由に該当する場合、宿泊契約を解除するものとします。

- (1) 暴力団等反社会的勢力
  - (2) 暴力団または暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体
  - (3) 法人でその役員の中に暴力団員に該当する者のあるもの
  - (4) 当ホテルもしくはその従業員に対し暴力的要求行為を行い、または合理的範囲を超える負担を要求した場合
  - (5) 他の宿泊者に著しい迷惑を及ぼす言動をした場合
- 3 当ホテルは前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、お客様がまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

(宿泊の登録)

第8条 お客様は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。

- (1) 宿泊者の氏名、年齢、性別、住所及び職業
- (2) 外国人にあっては、国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日
- (3) 出発日及び出発予定時刻
- (4) その他ホテルが必要と認める事項

2 お客様が第21条の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

(客室の使用時間)

第9条 お客様が当ホテルの客室を使用できる時間は、当日14時より翌日10時までとします。ただし、連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。

2 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる宿泊料金を申し受けます。

- (1) 午後2時までは、室料金の30%相当額
- (2) 午後5時までは、室料金の50%
- (3) 午後5時以降は、室料金の金額

(利用規則の厳守)

第10条 お客様は、当ホテル内においては、当ホテルが定めるホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。

(営業時間)

第11条 当ホテルの主な設備等の営業時間は次のとおりとし、その他の施設等の詳しい営業時間は備付パンフレット、各所の掲示、客室内のサービスディレクトリー等で案内いたします。

- (1) フロント・キャッシャー等サービス時間  
イ 門限・正門玄関 24時間  
ロ フロント 24時間  
ハ キャッシャー 24時間

(2) 飲食サービス時間

24時間営業のレストランジョイフルをご利用ください。

2 前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせいたします。

(料金の支払い)

第12条 お客様が支払うべき宿泊料金等の内訳及びその算定方法は、別表第1に掲げるところによります。

2 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、お客様の到着の際又は当ホテルが請求した時、フロントにおいて行っていただきます。

3 当ホテルがお客様に客室を提供し、使用が可能になったのち、お客様が任に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

(当ホテルの責任)

第13条 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行によりお客様に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただしそれが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

2 当ホテルは、消防機関から適合認定を受けておりますが、防災施設の整備に務めるほか、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

## RIGHT TO CANCEL ACCOMMODATION CONTRACT BY THE HOTEL

Article7. 1. The Hotel may cancel Accommodation contract under any of the following cases:

- (1) When the Guest is deemed liable to conduct and/or have conducted himself in a manner that will contravene the laws or act against the public order or good morals in regard to his accommodation.
- (2) When the Guest can be clearly detected as carrying an infectious disease;
- (3) When the Hotel is requested to assume an unreasonable burden in regard to his accommodation.
- (4) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities and/or other cause of force majeure;
- (5) When the Guest appears liable to, or in fact conducts himself in a disorderly manner, or When the guest disturbs or annoys other guests, especially when the guest is heavily intoxicated. (Prefectural Ordinance are applicable)
- (6) When the Guest does not observe prohibition such a smoking in bed, mischief to the fire-fighting facilities and other prohibitions of Use Regulations stipulated by the Hotel (restricted to particulars deemed necessary in order to avoid the causing of fires).

2. In the case when the Hotel has cancelled Accommodation Contract in accordance with the preceding paragraph, the Hotel shall not be entitled to charge the Guest for any of the services in the future during the contractual period which he has not received.

## REGISTRATION

Article8. 1. The Guest shall register the following particulars at the front desk of the Hotel on the day of accommodation.

- (1) Name, age, sex, address and occupation of Guest(s).
- (2) Except Japanese, nationality, passport number, port and date of entry in Japan
- (3) Date and estimated time of departure.
- (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.

2. In the case when the Guest intends to pay his Accommodation Charges prescribed in Article 12 by any means other than Japanese currency, such as travelers cheques, coupons or credit cards, these credentials shall be shown in advance at the time of the registration prescribed in the preceding Paragraph.

## OCCUPANCY HOURS OF GUEST ROOMS

Article9. 1. The Guest is entitled to occupy the contracted guest room of the Hotel from 2:00 p.m. to 10:00 a.m. the next morning. However, in the case when the Guest is accommodated continuously, the guest may occupy it all day long, except for the days of arrival and departure.

2. The Hotel may, notwithstanding the provisions prescribed in the preceding paragraph, permit the Guest to occupy the room beyond the time prescribed in the same Paragraph. In this case, extra charges shall be paid as follows.

- (1) Up to 2:00 P.M. the sum equivalent to 30% of the room charge
- (2) Up to 5:00 P.M. the sum equivalent to 50% of the room charge
- (3) After 5:00 P.M. the sum equivalent to 100% of the room charge

## OBSERVANCE OF USE REGULATIONS

Article10. The Guest shall observe Use Regulation established by the Hotel, which are posted within the premise.

## BUSINESS HOURS

Article11. 1. The business hours of the main facilities, etc. of the Hotel are as follows, and those of other facilities, etc. shall be notified in detail by brochures as provided, notices displayed in each place. service directories in guest rooms and others.

- (1) Service hours of front desk, cashier's desk etc.  
A Closing time: not applicable  
B Front service: 24 hours  
C Exchange service: 24 hours
- (2) Service hours (at facilities) for dining, drinking and etc.  
Please use the Family Restaurant Joyfull 24 hours day.

2. The business hours specified in the preceding Paragraph are subject to temporary changes due to unavoidable causes of the Hotel. In such a case, the Guest shall be informed by appropriate means.

## PAYMENT OF ACCOMMODATION CHARGES

Article12. 1. The breakdown and method of calculation of the Accommodation Charges, etc. that the Guest shall pay is as listed in the Attached Table No.1.

2. Accommodation Charges, etc. as stated in the preceding Paragraph shall be paid with Japanese currency or by any means other than Japanese currency such as traveler's cheques, coupons or credit cards recognized by the Hotel at the front desk at the time of the departure of the Guest or upon request by the Hotel.

3. Accommodation Charges shall be paid even if the Guest voluntarily does not utilize the accommodation facilities provided for him by the Hotel and are at his disposal.



# 宿泊約款



## PROVISIONS GOVERNING ACCOMMODATION AGREEMENT

(契約した客室の提供ができないときの取扱い)

- 第14条 当ホテルは、お客様に契約した客室を提供できないときは、お客様の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。
- 2 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料をお客様に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料をお支払いいたしません。

(寄託物等の取扱い)

- 第15条 お客様がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、き損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当ホテルがその種類及び価格の明告を求めた場合であって、お客様がそれを行わなかったときは、当ホテルは15万円を限度としてその損害を賠償します。
- 2 お客様が、当ホテル内にお持込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当ホテルの故意又は過失により滅失、き損等の損害が生じたときは、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、お客様からあらかじめ種類及び価格の明告のなかったものについては15万円を限度として当ホテルはその損害を賠償します。

(宿泊客の手荷物又は携帯品の保管)

- 第16条 お客様の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、お客様がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。
- 2 お客様がチェックアウトしたのち、お客様の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当ホテルは、当該所有者に連絡をするともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、発見日を含め7日間保管し、その後最寄りの警察署に届けます。
- 3 前2項の場合におけるお客様の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第1項の場合にあっては前条第1項の規定に、前項の場合にあっては同条第2項の規定に準じるものとします。

(駐車場の責任)

- 第17条 お客様が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

(宿泊客の責任)

- 第18条 お客様の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該お客様は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

契約解除の通知を受けた日		不泊	当日	前日	9日前	20日前
契約申込人数	一般	14名まで	100%	80%	20%	
	団体	15～99名まで	100%	80%	20%	10%
		100名以上	100%	100%	80%	20%

備考

1. %は、基本宿泊料に対する違約金の比率です。
2. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1日分(初日)の違約金を収受します。
3. 団体客(15名以上)の一部について契約の解除があった場合、宿泊の10日前(その日より後に申込みをお引き受けした場合にはそのお引き受けした日)における宿泊人数の10%(端数が出た場合には切り上げる。)にあたる人数については、違約金はいただきません。

内 容		税 金 (イ、ロ) の積算
宿泊客が支払うべき総額	① 基本宿泊料 室料	イ.消費税
	② 税 金 イ.消費税	① の5%
	③ 飲食料及びその他の利用料金	ロ.消費税
	④ サービス料 (③×10%)	(③+④) の5%
	⑤ 税 金 ロ.消費税	

備考

1. 税法が改正された場合は、その改正された規定によるものとします。

## LIABILITIES OF THE HOTEL

Article14. 1. The Hotel shall compensate the Guest for the damage if the Hotel has caused such damage to the Guest in the fulfillment or the nonfulfillment of Accommodation Contract and/or related agreements. However, the same shall not apply in the case where such damage has been caused due to reasons for which the Hotel is not liable.

2. Even though the Hotel has received the "PASS MARK" (Certificate of excellence of Fire Prevention Standard issued by the fire station), furthermore, the Hotel is covered by the Hotel Liability insurance in order to deal with unexpected fire and/or other disasters.

## HANDLING WHEN THE HOTEL IS UNABLE TO PROVIDE CONTRACTED ROOMS

Article14. 1. The Hotel shall, when unable to provide contracted rooms, arrange accommodation of the same standard elsewhere for the Guest insofar as practicable with the consent of the Guest.

2. When arrangement of other accommodation can not be made notwithstanding the provisions of the Preceding Paragraph, the Hotel shall pay the Guest a compensation fee equivalent to the cancellation charges and such compensation fee shall be applied to the reparations. However, when the Hotel cannot

## HANDLING OF DEPOSITED ARTICLES

Article15. 1. The Hotel shall compensate the Guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused to the goods, cash or valuables deposited at the front desk by the Guest, except in the case when this has occurred due to causes of force majeure. However, for cash and valuables, when the Hotel has requested the Guest to report its kind and value but the Guest has failed to do so, the Hotel shall compensate the Guest within the limits of 150,000 yen.

2. The Hotel shall compensate the Guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused, through intention or negligence on the part of the Hotel, to the goods, cash or valuables which are brought into the premises of the Hotel by the Guest but are not deposited at front desk. However, for articles of which the kind and value has not been reported in advance by the Guest, the Hotel shall compensate the Guest within the limits of 150,000 yen.

## CUSTODY OF BAGGAGE AND/OR BELONGINGS OF THE GUEST

Article16. 1. When the baggage of the Guest is brought into the Hotel before his arrival, the Hotel shall be liable to keep it only in the case when such a request has been accepted by the Hotel. The baggage shall be handed over to the Guest at the front desk at the time of his check-in.

2. When the baggage or belongings of the Guest is found left after his check-out, and the ownership of such article is confirmed, the Hotel shall inform the owner of the article left and ask for further instructions. When no instructions are given to the Hotel by the owner or when the ownership is not confirmed, the Hotel shall keep the article for 7 days including the day it is found, and after this period, the Hotel shall turn it over to the nearest police station.

The Hotel's liability in regard to the Guest's baggage and belongings in the case of precedings two Paragraphs shall be assumed in accordance with the provisions of Paragraph 1 of the preceding Article in the case of Paragraph 1 and with the provisions of Paragraph 2 of the same Article in the case of Paragraph 2.

## LIABILITY IN REGARD TO PARKING

Article17. The Hotel shall not be liable for the custody of the Guest when the Guest utilizes the parking lot within the premises of the Hotel, as it shall be regarded that the Hotel simply offers the space for parking, whether the key of the vehicle has been deposited to the Hotel or not. However, the Hotel shall compensate the Guest for the damage caused through intention or negligence on the part of the Hotel in regard to the management of the parking lot.

## LIABILITY OF THE GUEST

Article18. The Guest shall compensate the Hotel for the damage caused through intention or negligence on the part of the Guest.

Attached Table No.1 Cancellation Charge for Hotels.

Date when Cancellation of Contract is Notified		No Show	Accommodation Day	1 Day Prior to Accommodation Day	9 Days Prior to Accommodation Day	20 Days Prior to Accommodation Day
Contracted Number of Guests	Individual	1 to 14	100%	80%	20%	
	Group	15 to 99	100%	80%	20%	10%
		100 and more	100%	100%	80%	20%

Remarks:

1. The percentages signify the rate of cancellation charge to the Basic Accommodation Charges.
2. When the number of days contracted is shortened, a cancellation charge for its first day shall be paid by Guest regardless of the number of days shortened.
3. When part of a group booking (for 15 persons, or more) is cancelled, the cancellation charge shall not be charged for the number of persons equivalent to 10% of the number of persons booked as of 10 days prior to the occupancy (When accepted less than 10 days prior to the occupancy, as of the date) with fractions Counted as whole number.

Attached Table No.2 Cancellation method for Accommodation Charges, etc.

Contents		Tax Calculation (a,b)
Total Charge for Guest	Accommodation Charges	(1) Basic Lodging Charges (2) Taxes a. Consumption Tax 5% of (1)
	Additional Charges	(3) Food and Beverage Charges (4) Service Charges ((3)×10%) (5) Taxes b. Consumption Tax 5% of ((3)+(4))

Remarks:

1. In the event the tax law is revised, it shall apply to the revised regulation.



## ご利用規則



## REGULATIONS

当ホテルでは、お客様に安全でかつ快適なご滞在をいただくため、宿泊約款第10条の定めに基づき下記の規則をお守りいただくことになっています。この規則をお守りいただけない時には、宿泊約款第7条によりご宿泊のご継続をおことわりさせていただきます。

- (1) 客室をご宿泊以外の目的でご利用されることは堅くお断りいたします。
- (2) 宿泊登録者以外の方のご宿泊は、堅くお断りいたします。
- (3) 部屋にご到着なさいましたら、非常口の位置、避難経路のご確認をお願いいたします。
- (4) 火災になりやすい場所(特にベッドの上)での喫煙はなさらないでください。
- (5) 客室内に暖房用、炊事用などの火器およびアイロンなどを持ち込みご使用にならないでください。
- (6) ご滞在中、お部屋から出られる際は、客室鍵を必ず、お持ちになり、施錠をご確認ください。
- (7) ご在室中およびご就寝のときは、ドア・ガードを必ずかけてください。
- (8) 来訪者があったときは、ドア・ガードをかけたままドアを開けるか、ドア・スコープでご確認ください。不審者と思われる場合はフロントまで、ご連絡ください。
- (9) ご訪問者と客室内でのご面会は、ご遠慮ください。
- (10) 廊下やロビー等に所持品を放置なさらないでください。
- (11) 館内および客室内の備品を所定の場所からみだりに、移動なさらないでください。
- (12) 館内および客室内の現状をホテルの許可なく変更するような加工はなさらないでください。
- (13) 館内に次のようなものをお持込みにならないでください。
  - イ、愛玩の動物、鳥類等(但し、盲導犬は除く)
  - ロ、悪臭を発するもの
  - ハ、常識的な量をこえる物品
  - ニ、許可証のない鉄砲、刀剣類
  - ホ、発火又は引火しやすい火薬、揮発油、油類等
- (14) 館内および客室内で高声、放歌および喧騒な行為、その他で他人に嫌悪感を与えたり、迷惑をおよぼしたりしないでください。
- (15) 館内および客室内でとばくや公序良俗に反する行為をなさらないでください。
- (16) 館内および客室内で許可なくして他のお客様に広告物の配布や物品の販売などをなさらないでください。
- (17) ホテルの外観をそこなうような品物を窓側に置いたり掛けたりしないでください。
- (18) ホテル外からの飲食物の出前をとらないでください。
- (19) 窓の施錠を操作して開放しないでください。
- (20) お子様には充分気をお配りください。
- (21) 公衆電話は1フロビーにございます。
- (22) 宿泊客が心神耗弱、薬品等による自己喪失など宿泊しようとする者の安全確保が困難であったり、他の宿泊客に著しく迷惑を及ぼすおそれがあると認められるときご利用をお断りします。
- (23) 現金、貴重品等は、フロント会計の金庫へお預けください。室内における紛失、盗難等につきましてはホテルは責任を負いかねる場合もあります。

In order to insure our guests a secure and pleasant stay, we have set this Use Regulations for use of our facilities in accordance with Article 10 of Accommodation Contract.

In case one of the following regulations is violated by a certain guest, his or her stay will be discontinued regardless of the previous reservation in accordance with Article 7 of Accommodation Contract.

Guests are requested to observe the following rules:

1. Do not use the guest room for purposes other than sleeping.
2. Guests who are not registered are not allowed to stay at the hotel.
3. To check the locations of the emergency route and exits, as posted in your room.
4. Refrain from smoking at spots likely to cause a fire (especially in bed).
5. Refrain from using equipment for heating, cooking or ironing in the room.
6. When leaving the room, please be sure to lock the door and bring the Key with you.
7. When in the room or in bed, please lock the door and fasten the door arm for maximum safety.
8. Do not admit unknown visitors into the room, when in doubt, please contact the front Desk by your room telephone.
9. Do not bring unregistered guest in your room.
10. Do not leave your belongings in the hall way or other public areas.
11. Do not move furniture from fixed position within the hotel.
12. Do not alter or rearrange the fixtures in the room without authorization of hotel officials.
13. Do not bring into the hotel any of the following.
  - a. Animals, birds or any kinds(except guidedog)
  - b. Things likely to cause bad odour.
  - c. Unregistered firearms or swords, or other articles the possession of which is prohibited by local laws.
  - d. Explosives or inflammables.
14. Do not annoy other guests by making loud noises in your room or in the hallways.
15. Do not gamble in the hotel and commit any offense against public decency or public order.
16. Do not use the hotel for soliciting business of any type unless specially authorized.
17. Do not display anything on the window.
18. Do not order dishes and drinks from outside of the hotel.
19. Do not attempt to open windows.
20. You are requested to take special care of your children.
21. Public telephones are available in the lobby.

When the phone in the room is used, an additional fee is charged.
22. Guests are not allowed to use the accommodations when they appear likely to conduct themselves in a disorderly manner, or when they annoy other guests by their unethical or unusual behavior.
23. Deposit money and valuables in the safe of the front office. The hotel is not responsible for loss or robbery of valuables left in your room.